

# 座間市入谷第二地区社会福祉協議会

(入谷東2丁目全域および入谷東3・4丁目一部地区を  
エリアとする住民の福祉組織)

令和3年7月15日発行  
編集：入谷第二地区社会福祉協議会  
広報委員会  
連絡先：Tel 046-253-0878

# いごこち通信

## 居・心・知

No. 7

### 【定期総会を開催しました】

入谷第二地区社会福祉協議会会長 松村 坦

4月27日(火) 座間ハイツ集会室にて、入谷第二地区自治会連合会と座間市社会福祉協議会(以下、市社協)より計3名の来賓をお迎えし、2年ぶりに対面での定期総会を開催しました。

議案はすべて承認されましたが、コロナが収まらないため具体的な事業計画を立てられないのが実情です。そんななか、この「いごこち通信」は例年どおり7月と来年1月に発行し、入谷第二地区の情報をお届けしてまいります。地区社協の活動資金は、今年度も座間市と市社協の助成金のほか、7月に皆さまからお預かりする社協会費の一部が当てられます。運営委員は新しく6名が加わり、25名体制でスタートしました。

11月には市制50周年の行事もあることでしょう。当地区社協も、秋以降は感染対策を徹底し、開催方法を検討しながら活動できるのではないかと期待しております。



総会模様 2021.4.27



市制施行50周年  
記念 ざまりんロゴ  
マーク「©座間市」

### 【地区社協が子ども会と初の懇談会】

入谷第二地区社協は、5月25日(火)、座間ハイツ子ども会(会員30名)の各ブロック会長さん3名と初めての懇談会を行いました。地区社協からは5名が出席し、子ども会の活動や地域への要望、困り事をお聞きしました。活動は、箱根日帰り旅行や登校班ごとのお楽しみ会が実施されていて、親子同士のつながりが感じられました。やってほしいイベントには、田植えや自然観察会、工作指導等があり、子どもに関する困り事の相談窓口

地区社協の今後の活動に反映できたらと考えています。

子育ての困り事は、どこに相談したらよいかわからないとので、地区社協で調査した相談窓口を表にまとめました。ご利用ください。

対象	相談内容	相談窓口
妊婦 乳幼児	産前・産後の体と心のこと 子育ての不安・悩み 他	ネウボラざまりん(市役所2階) 電話 252・7776
小学生 中学生	不登校、問題行動、いじめ、 教育における心配 他	座間市教育研究所(市役所5階) 電話 259・2164
義務教育修了 ~30歳未満	青少年に関すること全般	座間市青少年相談室(青少年センター1階) 電話 256・0907
小学生 ~高校生	居場所・学習支援	座間市社会福祉協議会 生活相談課 電話 266・2004
すべての年代	生活上の不安・悩みいろいろ	民生委員・児童委員(市役所2階・ 福祉長寿課 電話 252・8247)

## 【コロナワクチン接種予約で右往左往】

座間市では、65歳以上の集団接種の予約が1回目は5月10日から、2回目は6月7日から始まりました。ところが、電話もLINEも予約が殺到し、高齢者住民の怒り、嘆きの声が聞こえてきました。その声を行政や地域住民とで共有し、今後につながるよう例を紹介します。

### 【集団接種の予約の場合】

- 独居、老夫婦の声 電話が繋がらない(10~17時までかけたがダメ。翌日かけたが終了していた)。スマホなんか持ってない。腹が立って仕方がない。「取れた、取れた」と言いふらされると焦る。知人がLINEでとってくれたが、知人に個人情報もれることになった。
- 息子や娘夫婦、孫と同居者の声 娘、嫁、孫がラインでゲットしてくれてほっとした。

### 【個別接種の予約の場合】

- かかりつけ医療機関 回線が少ないので繋がらない。受診が最低でも月1回なければ受け付けてくれなかった。「集団接種へ行ってください」と言われた。
- 初診 OK の医療機関 電話が繋がらない。かかりつけ医療機関より集中したかも。行って泣きつく。「助けてください」「お願いいたします」

### 【地域住民の活躍】

以上のような混乱のなか、住民のためにと活躍した方たちがいます。



接種予約代行

**活躍その1** 集団接種前に、接種会場で接種リハーサルが行われた。スカイアリーナとサニープレイスでのリハーサルには、入谷第二地区の民生委員・児童委員も参加協力した。



接種リハーサル

**活躍その2** 座間ハイツ自治会、座間ロータリークラブ、市議が組んで、2回目の予約日の6月7日10時から座間ハイツ遊戯室で予約受付。65名の未予約者をカバー（しかし、30名位の方の予約はできなかった）。

## 【災害時「おうち避難」のすすめ】

——「災害対応セミナー」(6月19日)参加報告——

豪雨や大地震のとき、「おうち避難(在宅避難)」をすすめるセミナーが、座間市・ざま災害ボランティアネットワーク協働事業として、市消防本部で開催されました。自宅の安全が確認されていれば避難所へ行く必要はないというお話が、災害への基本対応の解説とともにありました。



入谷第二地区社協の活動にご意見・ご希望がありましたら  
電話 046-253-0878(松村)

### 参加した入谷第二地区社協・運営委員の感想

- 事が起こっても市は至れり尽くせりの援助はしてくれない。向こう三軒両隣の重要性。
- 「おうち避難」をするには、まず耐震診断。安全化のため部屋の片付けも。こうすれば、愛犬とも一緒に居られる。
- 懐中電灯よりもヘッドライト。
- スマホの充電器が蛍光灯代わりになる。飛散防止フィルムは100均製品で十分。早速実践してみたい。
- 安心安全ボケ期に入っていた自分に気づかされました。
- 信頼できる情報を。スマホで聞く「らじるらじる」が便利。